



たか はし みず お
高 橋 瑞 男
(政 稟 会)

● 病院診療所改革プラン市民説明会 市民パブリックコメントについて

- 質問** 前沢・胆沢・衣川・江刺振興会連絡協議会長4名の連名で請願があり、①プラン策定には市民の声を大事に聞くこと、②策定段階では市民の意見を反映させるための手立てと、十分な時間を保障すること。
- このことについて議会は全会一致で採択した。その後も市民団体から議会、市長に陳情、要望があったが市長は即答を避け、プランの市民説明が大事とし、5会場10回開催した。説明会の結果9対1でプラン見直しを求められた。市民の声を無視、議事を軽視し強行することは絶対に反対である。市民要望の結果、改革プラン見直しを求める声、提言を含め136件、そのままでよい13件。市長は市民の声にどう答えるのか。
- 市長** 市民要望についてはプラン策定の参考にした。
- 質問** 水沢病院建て替えについて賛成は3件、反対14件のパブリックコメントの結果だが、少数意見を重視するのか。
- 市長** プラン案では「建て替えを前提として検討」するものがある。



併設されている国保衣川診療所

- 質問** 休床化することにより、医師、看護師が確保されやすいとしているが、前沢・衣川診療所に何名補充するのか。
- 市長** 市の方向性として、医師、看護師を集められる環境を整えることとし、診療所をサテライト化することにより、奥州市全体で医療の充実に向け努力していく。
- 質問** 各診療所一般会計繰り入れが問題視されている。前沢診療所7年間で16億3千800万円、衣川診療所8億9千900万円だが、水沢病院への繰り入れは。
- 市長** 水沢病院7年間で58億1千6百万円である。



さ とう かつ お
佐 藤 克 夫
(創 政 会)

● 地域力を協働のまちづくりに ● 子どもの意欲をどう育成していくか

- 質問** 協働のまちづくりの課題は何か。
- 市長** 地区センター組織体制を整え、地域課題解決のトレーニングを重ねる中で、役員まかせでない住民参画の実践を通して、協働の大切さを身につけていく。
- 質問** 自治の担い手となる人材の育成・団体育成の進捗状況は。
- 市長** 地域は常に新陳代謝が必要であり、諸活動を通して人材育成を前進させている。
- 団体数も市内で300となりNPOも31団体に達している。地区センター組織の中で連携を大事にし、地域力を高め協働の実践をあげていきたい。
- 質問** 市民協働推進条例を必要と考えないか。
- 市長** 自治基本条例・協働のまちづくり指針の実践を積み上げていきたい。
- 質問** 子どもの学ぶ意欲をどう育てていくか。
- 教育委員長** 子どもの学ぶ意欲の育て方として、確かな学力を身につける指導を基本とし「学



おうしゅうジュニアアスリート事業 (江刺西体育館)

- びの共同体」をとり入れた指導を重視し、分かる喜びを更なる学習意欲につなげていく。家庭学習の習慣化も重視する。
- 質問** 地域の教育力が子どもの体験活動等にどう関わっているか。
- 教育委員長** 子育ては学校や家庭だけでなく地域など社会全体が連携していくことが大事である。教育振興運動に加えて、学校地域本部事業・放課後子ども教室・在学青少年参加活動・体験活動等を地域・民間の力を連携し推進していく。